

前回会議の御意見を踏まえた京都市の考え方について

資料3

	御意見の概要	主体	実施内容、根拠	本市の考え方
101	コロナ禍での経験やノウハウを行動計画に盛り込むのか、業務マニュアル等に活用するのか、事務局で整理した方が良い。	本市	経験やノウハウの内容によって、行動計画に反映するか、業務マニュアルなど行動計画以外に盛り込むか等について、適宜事務局で整理	
102	北部山間地域で新型コロナのワクチン接種に自力で行けない高齢者について、集団接種会場までバスを手配してくれた事例があった。今後も柔軟な対応を展開いただければありがたい。	本市	御意見を踏まえ、事務局で検討	
103	定期的な訓練や会議など、新型インフルエンザ等対策を継続していくための組織的な仕組みが必要。	本市	御意見を踏まえ、事務局で検討	
104	感染症法上の5類移行後の新型コロナウイルス感染症について、「新型インフルエンザ等対策行動計画」の対象ではないことを記載した方が分かりやすいのではないかな。	今回の会議で説明		
105	新型コロナのワクチン接種の進展と高齢者の入院の減少との関連性など、予防接種の効果がどのくらいあるのかがデータとして表に出ていなかった。効果のフィードバックがあれば予防接種のモチベーションにつながったのではないかな。	国	予防接種データベースを活用して有効性及び安全性に関する調査研究を実施、予防接種の有効性や安全性等をリスクコミュニケーション (政府計画第7章3-4-2、3-5)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
106	高齢者施設など重症化リスクの高い方が集団生活を送る施設では、クラスター拡大を防止するための医師や看護師等の派遣支援をいただいたのが非常に役に立った。	府	高齢者施設等における感染対策として医師や看護師が助言等を行うことができる体制を整備 (府計画第11章1-6等)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討

前回会議の御意見を踏まえた京都市の考え方について

資料3

	御意見の概要	主体	実施内容、根拠	本市の考え方
107	障害者施設や高齢者施設では何度もクラスターが発生していたため、平時からの感染対策が大事だと感じる。クラスター発生の早いタイミングで施設への感染対策のアドバイスがあるとありがたい。	府	高齢者施設等における感染対策として医師や看護師が助言等を行うことができる体制を整備 (府計画第11章1-6等)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
108	知的障害や精神障害をお持ちの方は感染症の流行状況が理解できずに感染してしまう場合がある。ワクチンの優先接種枠に知的・精神障害をお持ちの方を入れていただきたい。	国	新型インフルエンザ等の病原性等に関する情報を踏まえ、住民接種の接種順位を決定 (政府計画第7章3-3-2-1)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
109	入院医療コントロールセンターが設置され、保健所で入院患者を分ける必要がなかったことが、コロナ禍の京都府で医療崩壊が起きなかった要因の一つだと思う。次の新興感染症等の発生時にも、京都府の良かった点として取り入れていただきたい。	府	京都市を含む府内の入院調整の一元化について検討し、センター等を設置・運営 (府計画第8章3-1(3)等)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
110	入院できない人が増え、入院待機者が自宅で亡くなるという事態もあった。それを防ぐため京都市から情報提供を受けて電話診療を実施した。非常時にはそのような取組も有効ではないか。	府	協定締結医療機関に対し、必要に応じて電話・オンライン診療等を行うよう要請 (府計画第11章3-2-4(3))	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
111	発生届の提出など毎日の事務手続きが膨大であったため、離職した看護師も多かった。次の新興感染症の発生時に医療人材をどれだけ確保できるかが課題の一つではないか。	府	研修や訓練の実施を通じて医療人材や感染症専門人材の育成等を推進 (府計画第8章1-3(1))	本市で取り組むべき点については、事務局で検討

	御意見の概要	主体	実施内容、根拠	本市の考え方
112	コロナ禍当初に、物資不足の中でのフェイクニュースや、新型コロナウイルスを診察した医療機関への風評被害など、根拠のない情報に左右されるのには非常に困った。	本市	行動計画内容に反映予定	
113	コロナ禍では、京都府のリーダーシップ及び京都大学と府立医科大学のリーダーシップを核にして毎週会議を開催し、病院間の連携を図り情報共有と現状把握に努めた。次の新興感染症の発生時にも同様の仕組みが必要と考える。	府	感染症対策連携協議会等を活用し、医療機関や保健所、消防機関、高齢者施設等との連携を図る (府計画第8章1-7(1))	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
114	医療機関では、個人防護具などの医療資源に余裕がない事態になる可能性もあるため、そのような事態に備えて考えておくことが必要と考える。	府	協定締結医療機関の個人防護具の備蓄状況等を踏まえ、個人防護具が不足する場合等は、不足する医療機関等に対し、府の備蓄分から配布 (府計画第12章2-3)	—
115	コロナ禍での病院間の会議はそれぞれの病院長が自発的に集まってお互いの医療機関の情報を交換するもの。そこに保健所や行政にも入っていただき、一緒に情報共有ができればさらに良くなるのではないか。	府	感染症対策連携協議会等を活用し、医療機関や保健所、消防機関、高齢者施設等との連携を図る (府計画第8章1-7(1))	本市で取り組むべき点については事務局で検討
116	在住外国人が増えてきているため、新型インフルエンザ等の対策について多言語の的確な方法で伝えていくことが大切。	本市	行動計画内容に反映予定	

	御意見の概要	主体	実施内容、根拠	本市の考え方
117	施設内感染対策の徹底としてマスクや消毒液だけではなく換気の問題も非常に重要。基本的な感染症対策として啓発していくべき。	本市	行動計画内容に反映予定	
118	有事に京都市が市民にマスク等を配布する形式をとるのであれば、新型インフルエンザ等の対策物資には、在庫管理や備蓄する場所の確保など様々な課題がある。行動計画を改定する前に対応を検討しておいた方が良いのではないかな。	国	不足物資の供給等の適正化として、感染症対策物資等の供給が不足している場合等は、事業者に対して生産や輸入等の促進の要請・受渡し等を行い、それでも不足するおそれがある場合は必要な個人防護具を配布 (政府計画第12章3-4①、②)	本市で取り組むべき点については、事務局で検討
119	施設内感染制御について、コロナ禍に高齢者施設に来てもらって医師や看護師に感染対策の指導をいただいたことは非常に有効であった。今後は高齢者施設内において感染症に詳しい介護職を育成していく必要があると考えている。感染症に詳しい介護職がいれば近隣施設や同種の関係施設にも派遣ができ、周知啓発できるのではないかな。	本市	行動計画内容に反映予定	
120	高齢者施設に限らず、障害者施設や保育園等でも医師や看護師など医療職ではない感染制御に詳しい人材を育成していく必要があるのではないかな。	本市	行動計画内容に反映予定	

	御意見の概要	主体	実施内容、根拠	本市の考え方
121	高齢者の介護予防や社会参加の促進のため、コロナ禍では公園に出て体操したりリモートで実施したりするなど、地域の役員が工夫して地域のつながりを絶やさないようにしてきた。 しかし地域の高齢化も進んでおり次の新興感染症の発生時に対応できる人材がいらないのではと危惧している。京都市では自治会支援として情報発信や情報集約にＩＣＴ技術を使うコミュニケーションツール活用の推進を行っているが、住民同士のコミュニケーションでも活用できるようにしてほしい。	本市	御意見を踏まえ、事務局で検討	
122	新型コロナの対応の中で、当時の国の通知やマニュアル等が現場で機能しないことがあった。当時作成したマニュアルがどの程度有効か、平時のうちに検証する必要があるのではないか。	本市	御意見を踏まえ、事務局で検討	
123	フェイクニュースや誤情報の発信が社会に与える影響の大きさを懸念しており、ワクチン接種の強制や未接種者への差別といった人権侵害の問題につながりかねない。適切な情報発信のあり方や法的な観点からの検討が必要ではないか。	本市	行動計画内容に反映予定	
124	新型インフルエンザ等対策における府と市との役割分担や連携について、十分に明確になっていないと感じる。議論をスムーズにするためにも府と市との計画の関係性や権限の範囲などを明確にしてほしい。	今回の会議で説明		